

## 議 事 録

件 名	平成 29 年度第 2 回大網白里市環境審議会
日 時	平成 29 年 8 月 18 日（金） 10:00～11:28
場 所	大網白里市役所 別棟 2 階大会議室
出席委員	鈴木弘孝（会長）、内山佐智子、上田弘子（副会長）、板倉功尚、矢部慎一、石井敏夫、木田進、片岡泰隆
欠席委員	佐久間浩一、小栗山喜一郎
事 務 局	地域づくり課 岡部課長、深山副課長、佐久間班長、稲生副主査
配付資料	別添のとおり
内 容	<p>【1 開会】 進行：事務局（地域づくり課 深山副課長） 別紙次第のとおり</p> <p>【2 会長あいさつ】 鈴木会長</p> <p>【3 議題】 （1）第 2 次環境基本計画素案について 資料に基づき事務局より説明 （訂正：P 37 道路や公園⇒道路・公園） 《質疑応答・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間 10 年間の中間見直しについてはきちんと実行してもらいたい。</li> <li>・地球温暖化防止を推進するなかで大網白里市地球温暖化対策実行計画（公共施設関係）を策定しているが、本市は計画策定の義務はないが市全体の地方公共団体実行計画（区域施策編）を作成してもらいたい。取組にも区域施策編の作成を入れたらいいのでは。策定支援サイトなどいろいろなものを見ながら作成していければと思う。 ⇒地球温暖化防止の対策の啓発などは実施していくことができる。世界の地球温暖化対策の状況が変わってきているので状況をみながらと考える。</li> <li>・地球温暖化は大きなものと思うがあまりそれに係る掲載がない。環境省に大網白里市のデータがあるのでこのデータを使って P 29 の温室効果ガスの指標と関連する市全体の CO<sub>2</sub> の年間排出量の推移をエネルギー消費動向（ネットに公開されていない）に代わり掲載してはどうか。 ⇒データは参考資料にも載せることも。</li> <li>・P 29 指標：新エネルギー導入補助制度の実施は、1 事業となっており、目標値が拡充となっているが、1 事業はどういうものか。指標が総合</li> </ul>

計画にとらわれず他にもあってもいいのでは。

⇒1事業は既存建物への太陽光発電の設置補助であり蓄電池を備えるなど今年度より事業が変更されている。あくまでも住宅用である。新エネルギーは風力発電などもあると思うが補助事業としては現在1事業のみとなっている。

・目標値を5年間とし総合計画の後期基本計画の目標年度と合わせたとのことだが、目標値についての市民からの問合せについては、後期基本計画と同様のものなのでそのようになっていると思いますが、なるほどと思うようなものをもって説明できるようにしておいたほうがいい。

⇒後期基本計画の指標と相違があるものは、「市民1人当たりの年間ごみ排出量」「公共温室効果ガス年間排出量」を変更しています。また、「資源回収年間参加団体数」「清掃活動（ボランティア回収）年間実施回数」は新規で掲載してあります。

・P28目標：自然を守り、ふれあえるまちづくりでは、森林管理だけで限定的なものになっている。P15の意識調査で海はきれいが低く、砂浜の減少やハマヒルガオなどの保全なども書かれているので海岸の保全も入っていてもいいのではと思う。

⇒養浜計画などあることから取組としてはあえて記載していない。指標の追加は難しいが文章での記載を検討する。

・P27目標：安心して暮らせるまちづくりの文章はマナーモラルなど抽象的なものになっており、環境を保全していくなど記載できないか。

⇒安心してと言うと防犯的なものがイメージされる。「快適でゆとりのある生活空間を有する」の他に環境に関する言葉を少し入れてはどうか。ごみがないということから「清潔」など。

・P37市民や事業者の取組にある「外来生物を理解し、持ち込みません。」とあるが、外来生物は法律で規制されている。持ち込みませんとは、どういうことなのか。

⇒外来生物とは外来生物法上では特定外来生物となりますので言葉的には合せておかななくてはならない。また、特定外来生物に関して三原則があるのでそれを記載していおけばいい。

・たとえば外来生物を見つけたらどうしたらいいかなど記載しては。

⇒殺処分するのはいいが移動させてはいけない等あるので、「まず窓口にご相談して下さい。」くらいになる。この中に記載していくのではなく対応できるようにしておけばいい。

・オオキンケイギクも綺麗だから植えられている。

⇒広報で周知させていただいています。

・ミドリガメもどうしたらいいか。

・どこでもいいので子どもでも大人でも分かるような、たとえば合併浄化槽を入れたらこうなるなど掲載できたら。3Rなども。自分も不要な物が

あり処分したらリサイクルされるなど処分費が抑えられた。

- ・意識調査結果を記載できれば。

⇒参考資料として掲載を検討。

- ・P15の意識調査にコメントが付けられれば。

⇒調査結果報告では記載しているので掲載は可能。

- ・用語解説も入れられれば。例えばメガソーラーなど。

⇒検討することに。

- ・基本計画が実行され市民が環境が良くなったと実感できるかどうかである。三島市では子ども達が川に入って水遊びをしている。最近はなかなかないので、行政ではなく市民が進んでごみ拾いをして、自分達が遊んだ川を取り戻したいという思いで行っている。大網白里市は潜在的にもっと価値があると思う。環境を目玉にして、すばらしい自然環境は若い人たちを呼び込むことができる。環境が良くなったと実感できることは、まちづくりに繋がってくる。地域づくり、地域の再生そういう環境計画になっていければと思う。国では、総合環境指標というものがあり、経済成長と対比しCO2を少なくしてどう経済成長をしていくのか、地域の発展をどうするのかを研究していますので、総合的に環境が良くなっているかを目指したほうが良い。「自然と共生する」とあるがどうなったら良くなるかを考え、具体的には簡単にはいかないが指標というものになるのではないか。

- ・大網白里市の現状それにかかる目標があって取組がありよく出来ていると思う。平成18年のものより皆に読んでもらえるようなものにしてほしい。

⇒簡単なわかりやすい絵など入れたりパンフレットの的なものを作ったり検討してください。

- ・光化学スモッグの発令やPM2.5についての記載は。

⇒P40の取組の中に「情報を市民に発信します。」とありこの中の一つとして情報を周知していきます。

#### 【4 閉会】